

令和5年度 第1回社会教育委員会議事録

開催日時：令和5年5月29日（月） 午前10時00分～午前11時25分

開催場所：精華町立図書館 1階集会室

出席委員：

高鍋房美委員長、村上栄副委員長、白畑丈子委員、尾崎麻由美委員、北尾直美委員、播磨富士子委員、米澤正展委員、尾崎万佐子委員、吉田一雄委員、山田昇委員、丸山琴羽委員

出席事務局職員：

教育長 川村智、教育部長 浦本佳行、生涯学習課長 田原孝一、生涯学習課主幹 西置雄一、生涯学習指導員 畑中悟、安倉敏代

傍聴者：無し

内容

1 議事

- (1) 各種委員の選任について
- (2) その他

2 報告

- (1) 精華町社会教育委員の会議議事一覧について
- (2) 主な生涯学習事業について
- (3) 令和5年度社会教育事業（京都府等）の予定について
- (4) その他

会議内容

1 あいさつ

○高鍋委員長

おはようございます。カリスマ保育士T先生が「子どもが自分の方を見ていない時でもとにかく1日5分見ていると、必ず1回は子どもが自分の方を見る。その時のお母さんが見てくれているという安心感、見守られている感覚が日々積み重なって子どもの気持ちが安定する。」と話しておられました。地域のつながりが薄くなっていると言いますが、いっぱいある手伝ってほしいことをちょっとずつでも手伝うことができ、「お互いさま」という言葉がいっぱい溢れるような、まちになるよう、生涯学習の中に絡めていけたらいいなと思っています。今日の会

議が有意義なものになりますように、よろしく申し上げます。

○川村教育長

今年度最初の社会教育委員会議開会にあたりまして、ご挨拶申し上げます。委員の皆様はご多用の中、ご出席賜りまして感謝申し上げます。今は、高鍋委員長から、まちづくりにとってとても示唆に富むお話をいただきました。

精華中学校隣の敷地において、防災食育センター竣工式典を5月24日に行ったことをご報告いたします。中学校給食の実施は、町にとって一丁目一番地の政策です。この施設は、有時の焚き出しと平時における中学校給食調理の機能を有します。安全安心なおいしい給食を中学校にも提供するため、9月当初から給食をスタートできるよう取り組んでいきます。

さて、新型コロナウイルスはようやく5類に移行して、感染者も一頃に比べると少なくなり、今後は学校、家庭、地域、行政の全ての人々がそれぞれ連携した人のつながり、地域のつながりを深めていくように取り組んでいくことが重要だと思えます。委員の皆様には、今日は各種委員の選任と社会教育事業関連予算の実施状況などについてご審議をいただきます。限られた時間ではありますが、忌憚のないご意見をいただき、本町のこの一年間の社会教育の充実と取組の推進を図っていただくようご尽力をお願いいたします。どうぞよろしく申し上げます。

2 議事

(1) 各種委員の選任について

①町の民生委員・児童委員推薦会委員、②精華町教育委員会所管施設指定管理者評価委員、③精華町子ども祭り実行委員会委員、④精華町子どもの読書環境づくり推進協議会、⑤精華町明るい選挙推進協議会委員、⑥いじめ問題対策委員会委員、⑦精華町町民健康づくり推進協議会委員について、職務内容等を事務局から説明。

①は吉田一雄委員、②は高鍋房美委員長、③は尾崎麻由美委員、④は播磨富士子委員、⑤は丸山琴羽委員、⑥は村上栄副委員長、⑦は堀口紀代美委員が選任された。

令和4年度から現在まで、充て職として社会教育委員が選任される各種委員について再確認した。

3 報告

(1) 主な生涯学習事業について

○西置生涯学習課主幹

主な生涯学習事業として、合計で11事業を載せています。令和6年1月8日

(月)二十歳のつどいは約500名を対象に予定。精華まなび体験教室事業については、この3年間コロナ禍で実施できませんでしたが、今年度は各小学校施設を利用して計画。地域学校協働本部事業については、内容としては環境整備や花壇の整備、登下校の見守り等。子ども祭り事業については、今年度は実行委員会形式で行う予定です。文化振興事業においては、精華町少年少女合唱団が毎週土曜日かしのき苑で練習し、合唱祭に出演をしています。また文化協会活動助成では、10月に文化フェスティバルを計画。移動図書館車運行事業では、移動図書館車が町内24か所へ運行。以上が主な事業です。

令和5年度京都府等の社会教育事業の予定は、まず、山城地方社会教育委員の連絡協議会総会、HUGフォーラム、京都府社会教育委員連絡協議会総会などがあります。次に近畿地区の社会教育研究大会が立命館大学のびわこ・くさつキャンパスなどがあります。

○田原生涯学習課長

京都府発行の「社会教育を推進するために」と、精華町教育委員会の「令和5年度学校教育社会教育指導の重点」を資料配付しました。後者は、今年2月に、社会教育委員会議で審議いただき、委員からのご意見も踏まえて、まとめました。

それから、精華まなび体験教室は、もともと放課後の子どもたちの安全安心の居場所づくりをねらいとして、スポーツ体験や文化活動を通じて学びの場を保障する取組で、コロナ禍で3年ほど学校内での活動を自粛していた事業です。

今、少し落ち着きのある状況になっていますので、学校の協力も得ながら、実施していきたいと思えます。これは地域のコーディネーター、ボランティアの協力によって成立する事業であり、体制づくりを行って事業復元をしていきます。子ども祭りはせいか祭りと同日開催の予定です。子ども祭りを実施していくため、子ども祭り実行委員会を後日開催させていただく予定です。文化振興事業の少年少女合唱団は、一番ピーク時に90名程度いた団員が、今は小学2年生から中学3年生まで25名で活動しています。

○播磨委員

私は読書環境づくり推進協議会に出席しています。町立図書館はコロナ禍でも閉館しないように本当に努力されてきました。本予算には図書購入費は、入っていますか。また、協議会の中では、毎年、幼稚園、保育所の先生方が図書修理の仕方を図書館司書さんに教えてほしいとおっしゃっていますが、どうでしょうか。

○田原生涯学習課長

精華町立図書館では、図書購入費として、年間約700万円の予算を計上して、

何とか多くの方に図書館に来ていただけるよう、図書を選定しています。また、図書館でスタッフが本の修理をやっていますので、そのテクニックを幼稚園や保育所の現場で活かせる研修などをやっていきたいと思っています。

○村上副委員長

京都府の「社会教育を推進するために」には、コミュニティ・スクールと地域学校協働事業の一体的推進とありますが、地域学校協働本部事業について、学校教育管轄のコミュニティ・スクールとのすみ分けはどうなっていますか。

○尾崎万佐子委員

私も精華台小学校の学校運営協議会に出席して、やはり学校教育と社会教育との連携が大事だなと思います。地域や小学校についてよくご存じの方が、精華西中学校区コーディネーターを務めておられ、活動していただいております。

せいか文化フェスティバルは10月1日に開催でしょうか。また、親子で触れ合う遊びを通して家庭教育の在り方を学ぶ家庭教育学級のびのびコースを令和5年からは充実してほしいのですが、1期10回という1期は前期と後期なのか、令和3年度のように前期、中期、後期なのかなどについて、教えてください。

○米澤委員

学校の立場から、地域学校協働本部のコーディネーターに、学校運営協議会のコーディネートをお願いしているのが現状です。昨年度から町内全学校で学校運営協議会が運営されていますが、基本的には京都府の考え方に則って運営していると理解しています。

○安倉生涯学習指導員

学校運営協議会制度、コミュニティ・スクールとは、保護者や地域の方々が学校に対して一定の権限を持ちながら学校運営に関わっていく地域と一緒に学校づくりを進めています。また、地域学校協働本部事業は、これも地域住民の方の参画をいただき、地域全体で学校を核にしながらの地域づくりを目指して、地域と学校が相互に同じ立場でパートナーとして連携協働していく活動を進めています。さらに、協働本部事業とコミュニティ・スクールについては、中心に置かれるのはやはり地域と学校との協働づくりです。目指すところは同じところにあると理解していただけたらと思います。

○田原生涯学習課長

文化フェスティバルは、今年もけいはんなプラザを会場に10月1日（日）に開催する予定で準備を進めています。次に青少年健全育成事業の家庭教育学習のびのびコースは今年度は、1期10回25組という予定です。1組でも多く

の新しい新規の親子連れに参加いただけるような内容の見直しを、考えているところでは。

○尾崎万佐子委員

育児に対する不安や悩みについては、民生・児童委員の時に頂いた「S u K u S u K u」はすごく工夫されたよい冊子なので、社会教育委員の皆様にも見てもらえたらいいなと思います。

○丸山委員

この予算は、コロナ禍前の事業が大体戻ってきた印象ですが、子ども議会は、復活されるのでしょうか。その際、社会教育委員が意見を述べたり、参加したりするのか教えてください。

○田原生涯学習課長

令和5年度の生涯学習課事業の中で子ども議会の予定はありません。長年続いた子ども議会はコロナ禍で中止となった際に事業見直しを行いました。子ども議会に向けてクラスで話し合いをもち、その代表者を送り出すという形で学校で取り組んでいただいたのですが、議場での最終のまとめが特定の限られた子どもの体験の場となっているとの課題がありました。中学校における主催者教育の取組みについて部長から紹介します。

○浦本教育部長

民法改正により中学校を卒業して3年後に成人を迎えることになり、これまで以上に中学校3年間で大人として備える素養に関する学習である主権者教育や消費者教育が重要になっています。職業体験などもありますが、中学校の総合的な学習の時間の中で3年前から精華南中学校は、精華町内でのモデル事業の形で役場、行政と関わりながら、昨年一昨年については行政の職員から自分たちが学習したまちづくりの課題について、担当職員とオンラインで意見交換をしながら、自分たちが課題として仮説を立てた内容について検証して、最終的に自分たちのやった検証が正しいのか否かを含めて最終的な発表会を開催しました。一昨年はちょうど、町で総合計画策定をしていましたので、中学3年生が10年後の精華町のまちの姿について提言をする取組をしました。今年度は、中学1年生が実際の議会での一般質問を見学し、学校教育課職員による役場の仕事についての出前授業を踏まえて、子どもたちが課題を見つけて調べ学習をしたうえで、6月議会を傍聴して、様々な課で自分たちが調べ学習したことを職員に質問するなど、往還的な学びを総合的な学習の時間で取り組んでいます。

精華中学校と精華西中学校については生徒数の関係上、精華南中学校と同様の取組はできないものの、各学校が設定した教育目標に合わせた総合的な学習の時間を活用した学習メニューを検討しているところです。

○村上副委員長

令和6年1月12日の山城地方社会教育委員連絡協議会で、精華町が課題起に当たっており、この会議のメンバーの中から分科会において課題提起をしていただくこととなりますので、よろしく申し上げます。

(3) 令和5年度社会教育事業の（京都府等）の予定

事務局から資料を配布し今後の京都府主催の社会教育委員関係行事等について案内、出欠確認等を行った。

4 閉会

○村上副委員長

本日は忙しい中、ありがとうございました。今、私は精華中学校コミュニティ協議会の運営委員を務めています。5月から4年ぶりにシニアスクールをスタートし、全11講座、総員で約70名で茶道、絵画、押し花、読み聞かせ、英語など各講座4～5名で、地域の方が学校の多目的ホールにいられて生涯学習をされています。機会があったら皆さんも見学にお越しください。

6月9日（金）の会議は、八幡市のご好意で庁舎や文化センターを特別に借用できますので、新施設見学も兼ねてぜひご出席ください。研修会では、地域協働活動とコミュニティ・スクールとの関係等についても講演していただけたと思います。地域の力というのが本当に学校に必要です。それを社会教育委員が盛り立てていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

なお、6月27日（火）交流ホールで人権啓発推進委員会総会と研修会が予定されています。皆さんも委員になっていますので、ぜひご参加していただきたいと思っています。本日はありがとうございました。